

# 長野市民病院の業務実績評価について

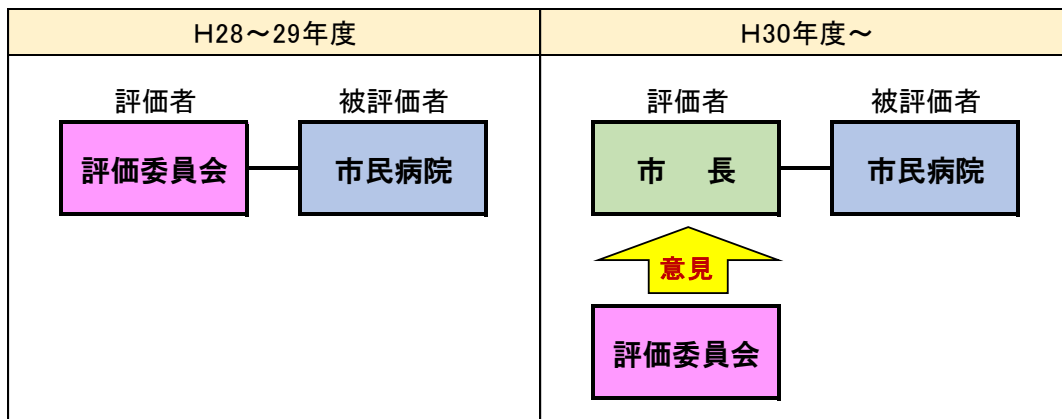
## 1 業務実績評価の区分

- (1) 年度ごとの評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **毎年度**実施
- (2) 中期目標期間（3か年）終了時の見込評価・・・・ **目標期間の最終年度**に実施
- (3) 中期目標期間（3か年）の評価・・・・・・・・・・ **目標期間終了後**に実施

※この度、委員会へお願いしているのは、(1)の平成30年度の評価と、(3)の第1期目標期間（H28～30）の終了後の評価に関する意見書の作成です。

## 2 法律の改正に伴う制度変更

平成29年6月の地方独立行政法人法の改正により評価者が変更された。



## 3 評価の方法

1 評価区分	A 項目別評価			B 総合評価
	小項目	中項目	大項目	
2 評価者	法人による 自己評価のみ	市長	市長	市長
3 評価委員の 役割	評価委員会では <b>評価しない</b> 。 ■小項目に対する <b>意見は、中項目評価へ反映</b> する。	評価委員会で評価し、意見書を作成する。 ■ <b>自己評価と評価が異なる場合や特筆すべき事項は、意見書に付記</b> する。		■中項目の平均点を評価基準に照らして点数を決定する。 ■項目別評価の結果を踏まえ、総合的な実施状況を記述式で評価する。
4 評価方式	5段階 (5～1)	5段階 (5～1)	5段階 (S～D)	記述式

(評点の事例)	例 A	4	}	3	}	B $\left( \frac{3+4}{2} = 3.5 \right)$	(省略)
		3					
		2					
	例 B	4	}	4			
		4					
		4					

## 4 評価基準

### (1) 年度評価

区分	点数	判断基準	判断の目安
小・中項目	5	計画を上回り、顕著な成果がある	
	4	計画を予定どおり実施している	
	3	計画を概ね予定どおり実施している	
	2	計画を十分に実施していない	
	1	計画を全く実施していない	
大項目	S	特筆すべき成果	市長が特に認める場合
	A	計画どおり	中項目評価平均が4.0以上
	B	概ね計画どおり	中項目評価平均が3.0～3.9
	C	計画を下回っている	中項目評価平均が2.9以下
	D	業務の改善が必要	市長が特に認める場合

### (2) 中期目標期間の評価

区分	点数	判断基準	判断の目安
小・中項目	5	目標を上回り、顕著な成果があった	
	4	目標を予定どおり達成した	
	3	目標を概ね予定どおり達成した	
	2	目標を十分に達成できなかった	
	1	目標を全く達成できなかった	
大項目	S	特筆すべき成果	市長が特に認める場合
	A	目標どおり	中項目評価平均が4.0以上
	B	概ね目標どおり	中項目評価平均が3.0～3.9
	C	目標を下回った	中項目評価平均が2.9以下
	D	業務の改善が必要	市長が特に認める場合

## 5 業務実績評価に関する委員会の進め方

**手順1** 病院は「業務実績報告書」に基づき、業務状況と自己評価の理由について説明する。

**手順2** 委員会は、「業務実績報告書（自己評価）」の**中項目ごとに点数を付け**、意見を述べる。

- 中項目の評価点が自己評価と**異なるときは、その理由**
- その他**特筆すべき事項（小項目に着目した意見でも可）**

※大項目の評価点は、中項目の平均点を目安に決定するため、自己評価と異なる評価とする場合は、中項目の評価点を見直す必要がある。

**手順3** 事務局は、委員会の評価点と意見を整理して、委員会の意見書（案）を作成する。

- 「総合評価」では、委員からの意見を集約して案文を作成する。
- 「項目別評価」では、委員会で決定した中項目の評価点を示すとともに、「判断理由及び考慮事項等」として、委員からの意見を文章で盛り込む。

**手順4** 委員会は、意見書（案）を審議の上決定して、市長へ報告する。